

# 令和元年第8回定例会会議録要旨

◆開催日時 令和元年8月30日（金） 午後3時00分開会

◆開催場所 国富町農村環境改善センター C会議室

◆出席委員 豊田暎光 木下正明 二上由美 海老原千浩 山本憲一

◆欠席委員 な し

◆出席職員（事務局） 大矢雄二 松岡徳 福嶋英人 中武瞳

◆会議録署名委員指名 木下正明

◆教育長報告要旨（8月1日～8月31日行事実績）

## ①教育総務課

○8月2日（金）～8日（木）夏休み補習教室

台風10号によって1日中止になりましたので合計4日間、4会場で行いました。小中学生110名、本庄高校生14名を含んで43名の指導者でした。感想文等を見てみると子供たちの評判もよく指導者の方からもまたこんな機会があればお役に立ちたいというようなお言葉もありました。

○8月8日（木）中学生サマーサミット

町内3つの中学校の生徒会役員が集まり「メディアとの上手な付き合い方を考えよう」というテーマで討論をしました。国富町中学生ネット利用ルールが形だけにならないように、具体的な問題を出してお互いに話し合い、各中学校で取り組んでいこうと決議をしてくれました。

## ②社会教育課

○8月4日（日）第32回国富町ふれあい短歌大会

宮崎県歌人協会の志垣澄幸会長のあいさつの中で、これだけの応募数があり32回という歴史は自慢していいと言われました。応募総数は一般が412首、小中高校生の部が3352首、町内はもとよりたくさんの学校に協力していただきました。今年の講師は第10回若山牧水賞を受賞された水原紫苑先生でした。

## ③学校給食協同調理場

○8月20日（火）・21日（水）給食関係施設及び備品に関する学校訪問

日頃から衛生・安全に気をつけてもらっていますが、牛乳の保冷库や米飯の保温庫等各学校を実際に見て衛生管理状況を点検しました。

給食設備の備品や保冷庫の状態ですが、保冷庫の上のエアフィルターの蓋がない学校、入口ドアのパッキンが悪い感じがあり、雨風が強いと雨が打ち込んでくる学校、使っていない冷蔵庫が置いてある学校、コンテナ室の壁の一部が欠けており、補修が必要な学校、またコンテナ設置箇所が目印用ビニールテープがはがれている学校がありましたので貼り直すように指示したところです。

#### ◆その他

◇行事予定について 各課行事予定表に基づき説明

◇地域学校協働活動推進員等研修会について

木脇小中学校で取り組んでいただいている事業ですが、学校外からボランティアに来ていただきまして学校で習うこと以外の学習を指導してもらっております。

◇学校支援訪問計画について【資料に基づいて説明】

◇9月議会一般質問通告について

◇2学期9月1日スタートについて

2学期のスタートを9月1日で行っている市町村は、26市町村中2町だけです。8月の暑さの中授業を始めることについて教育委員会でも話してきましたが、エアコンが設置されたことにより涼しい環境で勉強ができるということにはなりません。本庄小学校が校舎の大規模改修予定があるため2年間はエアコンの設置ができない状況ですので、来年度からということにはならないと考えているところです。

指導要領が変わる時期で授業時数の確保が難しい中、国富町の学校現場ではこれまでと同じ状況でなんとかやりくりしてくださっていてありがたいなと思っています。大人は授業時数で消化できるかもしれませんが、子どもは夏休みが短くなり、8月下旬から学校へ行って本当に集中力が出るのでしょうか。子どもの感覚が気になるところです。

エアコンが付いたので家庭よりは学校の方が快適に勉強できるのではないかと思います。保護者も仕事をしていらっしゃる方が多いので、夏休みは子ども達だけで過ごす長い休みになります。それを考えると、保護者は、学校で見守っていただける方が仕事をしやすいという声は確かにあります。子どもにしても学校にエアコンが付いたので学校の方が集中できると思いますし、今年は台風等で学校がお休みになった日もあり、その分の授業は遅れていないのかというような声もあったので、少数かもしれませんが保護者の意見からすると早く学校が始まった方が安心できるのかなと思います。

学校の先生方の考え方はどうなのでしょう。受け入れ態勢が整っていれば夏休みを2・3日早くして授業に取りかかってもいいという考え方もあります。受け入れ態勢がどうか、先生方や学校の意向はどうか、そちらの方も考えるべきではないかと思います。

授業日数が足りないということが明らかであれば、もう夏休みを減らし、足りないところを詰め込むより、ゆとりを持って取り組む方がいいような気がします。

教育課程というのは、年間を通して授業時間を決めておいて、そのときに下回っていることは許されません。下回らないように計画はしていますが、インフルエンザ等により授業が少なくなると窮屈ですし何かあったときに足りなくなるという部分は仕方ないにしても、できるだけ防がないといけないところです。学校現場が窮屈だと思っている実情により、授業時数の確保ができるように、これまでも3学期や4月の始業日を早めたりと出来るだけ確保できるように変えていますが、夏休みのところだけは変えていません。学校現場がどうしてもこれでは組みにくい、足りないことが心配されるというのであれば、現場の声を聞き対応することになります。

(閉会午後3時48分)